

平成13年度

(第5回)

参加型地域社会開発の理論と実践

一般特設研修コース

実施要領

平成14年2月

国際協力事業団

中部国際センター

1. コース名等

- 1) コース名：平成13年度「参加型地域社会開発の理論と実践」
一般特設コース（第5回）
- 2) 受入期間：平成14年2月4日～平成14年3月25日
研修期間：平成14年2月10日～平成14年3月23日
- 3) 定員：10名（個別参加4名を含め14名）

2. コースの背景・目的

1) 背景・目的

開発途上国の地域社会開発への取り組みにおいて、住民参加による計画策定や事業の実施の必要性に対する認識が高まっており、各国において様々な参加型アプローチによる地域社会開発プログラムが手がけられている。しかし、残念なことに、それぞれの地域性にあった開発計画が行われなくて失敗した例が少なくない。開発途上国の現場で開発の担い手である地域の組織を育てて維持発展させるためには、その組織についてのみならず、地域社会の経済環境や社会規範も把握しながら実施していく必要がある。住民組織などの地域組織をエンパワーメントしていくためには、組織を形成していく能力のみならず、組織の運営管理力・組織が経済資源を有効活用する能力・行政機関、NGOなどの他の組織との組織調整能力などのさまざまな能力を現場において育てていかねばならない。

開発途上国における地域社会開発において中心的な役割を果たしている政府及び地方自治体関係者やNGO関係者にとって前述した能力を向上させる手法を身に付けることが開発の現場において求められている。

以上のニーズを踏まえ、日本の政府開発援助の一環として、開発途上国の開発担当者を対象とした、住民参加型の地域社会開発を計画・実施・維持発展させていくための体系的な研修の実施を行うこととなった。

途上国の地域社会開発に従事する政府及び地方自治体やNGO関係者に住民参加型の地域社会開発を計画・実施し維持発展させるための理論や実践的手法に関する研修を行うことで、各国において個々の実情にあった参加型地域社会開発プロジェクトの計画・管理が実施できるようになることを目的とする。

- 2) 設立年度：平成9年度

3. 研修到達目標

- 1) 対象地域住民を効率的に意識化・組織化するための参加型アプローチの知識向上。
- 2) 地域社会の実情に応じた地域住民の能力育成、資源管理の分析手法を理解。
- 3) JICA事業との関連の中で参加型地域社会開発の計画立案、事業実施の総合的な能力向上を得る。

以上学んだことをもとに研修員が自国の地域社会開発プロジェクトを素材に計画・実施内容を改善する作業を行う。

4. 研修項目

1) 研修方法

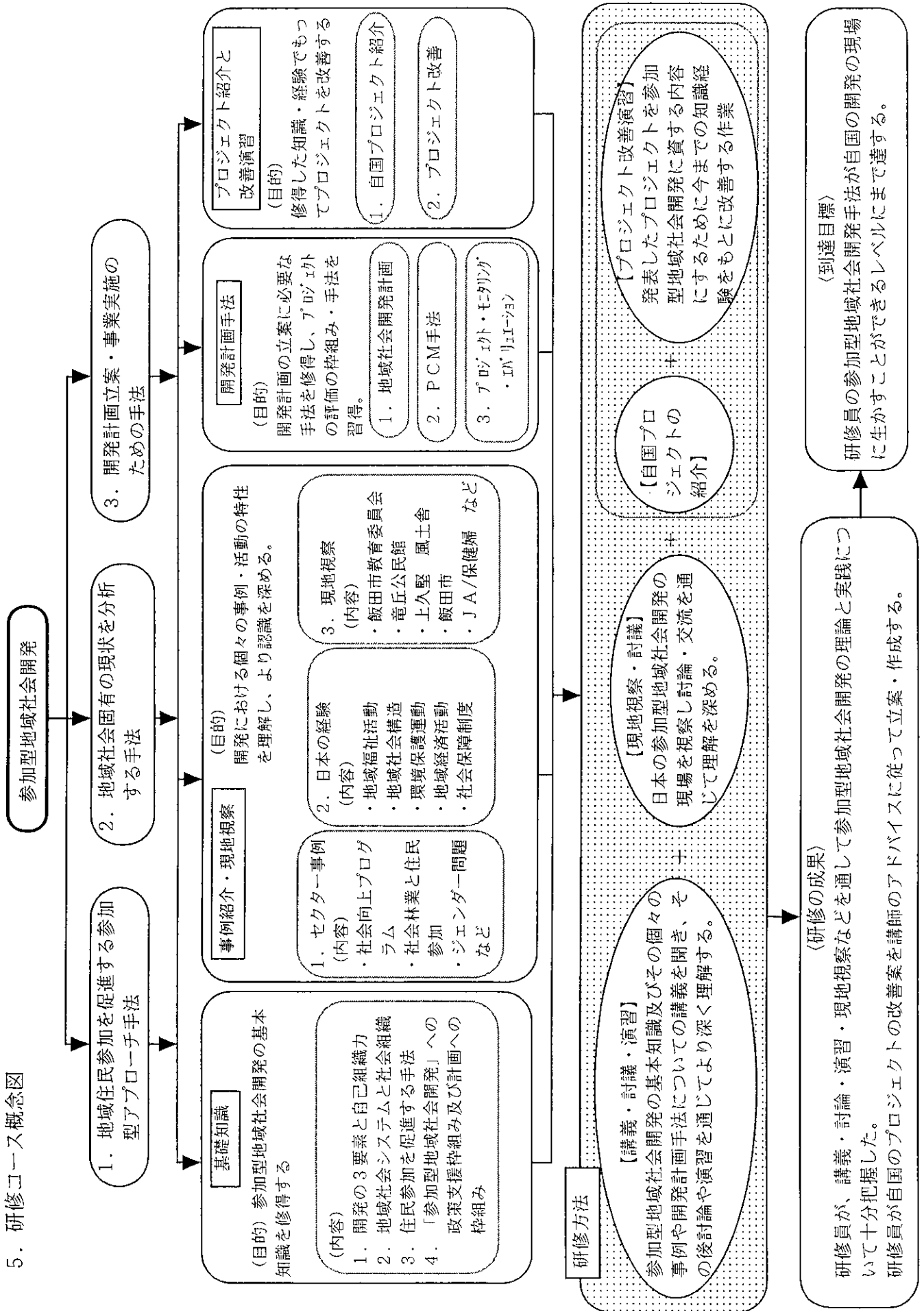
講義、集団討議、ワークショップ、現地視察等を盛り込んだカリキュラムを用いて研修員の参加に基づく経験的学習アプローチによる研修を実施する。(詳細以下)

- (1) 研修員による途上国でのプロジェクト紹介
- (2) 参加型地域社会開発の理論的枠組み
- (3) セクター別参加型地域社会開発プロジェクトの事例紹介及び分析
- (4) 日本の地域社会開発プロジェクトならびに普及活動の事例紹介
- (5) 日本の現場観察
- (6) 参加型計画手法の紹介及び演習
- (7) 研修員による自国プロジェクトの改善演習

2) カリキュラム (要旨)

- (1) 第1週：研修員プロジェクト紹介と参加型開発の理論と実践
 - ・ 研修員の自国プロジェクト紹介
 - ・ 「参加型地域社会開発」の歴史的背景と概念枠組み
 - ・ 参加型開発の理論と実践
- (2) 第2週：セクター別参加型地域社会開発の事例
 - ・ 開発の3要素と自己組織力
 - ・ 地域コミュニティ・システムと機能分析
 - ・ 地域社会システムと段階的アプローチ
 - ・ P L S Dの事例紹介
- (3) 第3週：日本の経験の学習 (事例紹介も含む)
 - ・ 地域福祉と住民参加
 - ・ 住民活動とP L S D
 - ・ 地域経済活動と集落
 - ・ 日本における伝統的慣習法と社会発展
 - ・ 日本の環境保護運動と住民参加
 - ・ 日本の伝統的社会保障制度
- (4) 第4週：参加型地域社会開発事例の現場視察
 - ・ 長野県における事例を観察する研修旅行
(場所：飯田市、受入れは、飯田市教育委員会並びに地域住民組織)
- (5) 第5週：参加型地域社会開発計画の枠組み及び手法
 - ・ P C M演習
 - ・ 村落計画
 - ・ 参加型地域社会開発計画
- (6) 第6週：研修員による自国プロジェクトの改善演習と研修評価
 - ・ 研修員による自国プロジェクト改善演習
 - ・ プロジェクト発表
 - ・ J I C Aプロジェクトスキーム
 - ・ J I C AプロジェクトへのP S L D活用
 - ・ 研修評価

5. 研修コース概念図



6. 研修員参加資格要件

- 1) 割当国数：12ヶ国
- 2) 定員：10名
- 3) 応募資格要件：(1) 地域社会開発の計画、実施又は研修を携わる地方自治体職員又はNGOスタッフ
(2) 自国政府により推薦された者
(3) 大学卒業程度の学歴。職歴は3年以上
(4) 28歳以上45歳以下
(5) 英語での研修に支障のない語学力を有する者
(TOEFL500点以上)
(6) 心身ともに健康である者
(7) 軍籍を有しない者

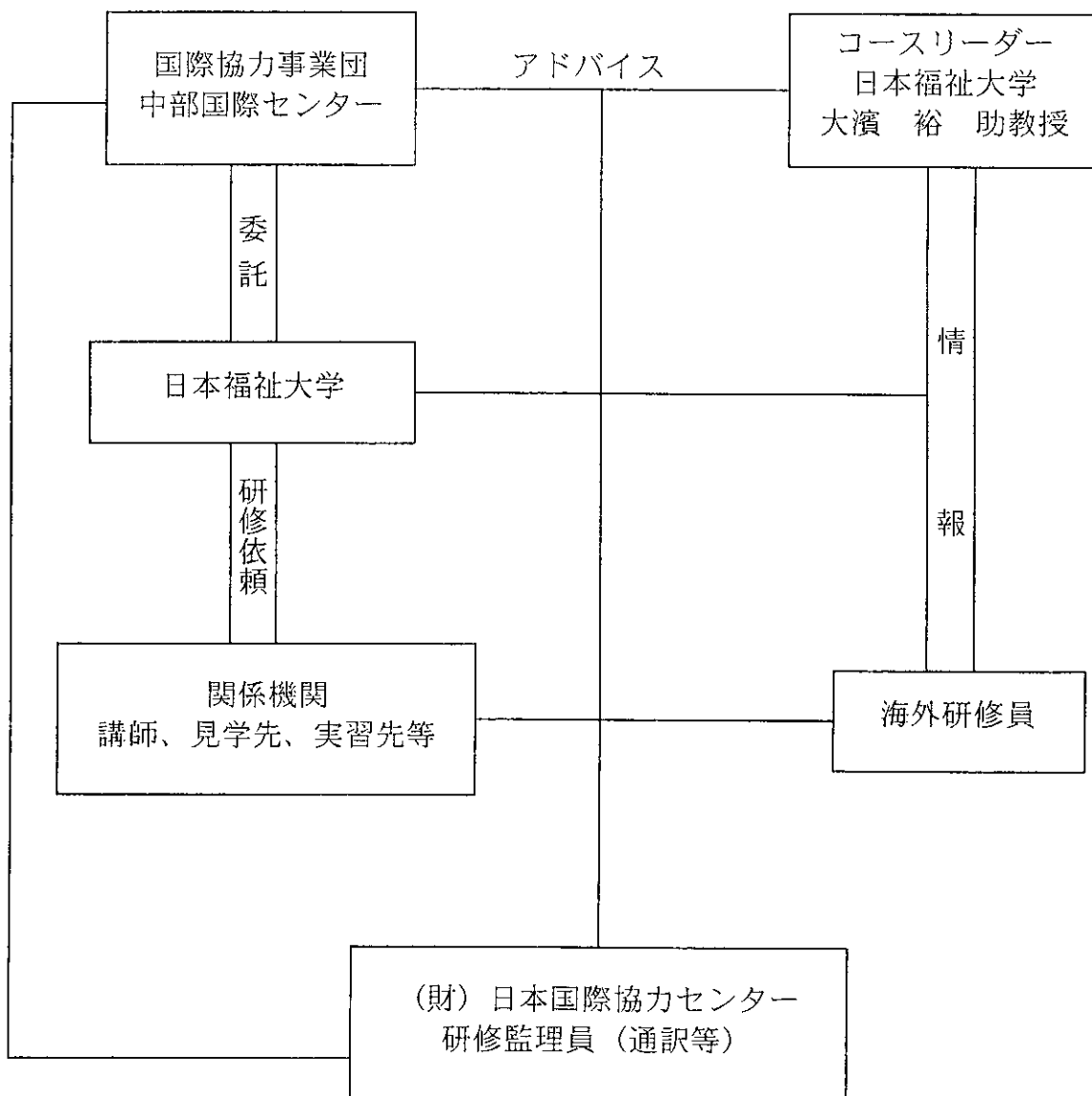
4) 応募状況及び選考結果

No.	割当国	応募数	受入数
1	チリ	2名	0名
2	エチオピア	1名	1名
3	ホンデュラス	1名	0名
4	インド	0名	0名
5	インドネシア	2名	1名
6	マラウイ	2名	2名
7	メキシコ	3名	1名
8	ネパール	1名	1名
9	ペルー	1名	1名
10	フィリピン	2名	2名
11	スリ・ランカ	1名	1名
12	ヴェネズエラ	0名	0名
合計		10ヶ国 16名	9ヶ国 10名

※この研修にはカウンターパート研修員3名（インドネシア2名、ジョルダン1名）及び個別研修員1名（東ティモール）の合計4名も参加する。

7. 研修実施体制

参加型地域社会開発研修コースはわが国の開発途上国への技術協力の一環として途上国の住民福祉や地域開発に資する事を目的とし、併せてわが国と途上国との交友関係促進に寄与するために、国際協力事業団・中部国際センターが日本福祉大学他関係各位のご協力、ご指導のもとに、日本福祉大学に研修を委託し実施するものである。



8. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

研修員来日直後に実施し、研修員登録、パスポート・ビザの有効期限確認、諸手当の説明、その他日常生活の諸注意を行う。

(2) ジェネラル・オリエンテーション

生活オリエンテーション、研修オリエンテーション、日本事情の紹介講義（日本の社会と日本人、日本の歴史と文化、日本の教育、日本の経済、日本の政治、日本語など）を行う。

(3) プログラム・オリエンテーション

研修内容(講義・見学等)の概略、研修の流れ等について説明を行う。

9. 研修の評価

評価対象	評価方法
1. 研修全体	研修員が JICA Questionnaire を用いて研修終了時に評価する。
2. 各セッション	研修員が Session Questionnaire を用いて各講義等終了時に評価する。
3. 研修員理解度	各講師が実施報告書を用いて各講義終了時に評価する。

1. 2. において講義、討論、演習、現地視察などの研修内容、研修方法、研修運営についての研修員の意見、3. において各研修員の研理解度についての講師の意見をそれぞれ聴取し、本コースの目標達成度、研修内容の妥当性、研修方法の効率性、研修効果を評価することで、今後の研修実施計画の改善に資する。

10. 修了証書

国際協力事業団は、研修終了時に研修員に対して修了証明書を授与する。

11. 参考資料

1) 研修日程表

日付	午前	担当	午後	担当	宿泊
2月4日 月	研修費来日				OSIC
2月5日 火	ブリーフィング				OSIC
2月6日 水			移動(大阪→名古屋)		CBIC
2月7日 木	日本始研修		日本始研修		CBIC
2月8日 金	開講式		プログラムオリエンテーション		CBIC
2月9日 土	名古屋市内観光		名古屋市内観光		CBIC
2月10日 日			研修全般のオリエンテーション	大瀧	CBIC
2月11日 月	カントリーレポート発表	大瀧	カントリーレポート発表	大瀧	CBIC
2月12日 火	カントリーレポート発表	大瀧	カントリーレポート発表	大瀧	CBIC
2月13日 水	PLSDの歴史的経緯	大瀧	PLSDの理論的枠組み	大瀧	CBIC
2月14日 木	PAの理論的枠組み	大瀧	PAの実践手法(夜まで)	大瀧	CBIC
2月15日 金	PRA手法	菅原	PAの有効性/限界	大瀧	CBIC
2月16日 土					CBIC
2月17日 日					CBIC
2月18日 月	開発3要素と自己組織力	大瀧	事例分析:韓国セマウル運動	大瀧	CBIC
2月19日 火	地域コミュニティ・システムと機能分析	大瀧	地域住民の集団対応・社会組織の分析	大瀧	CBIC
2月20日 水	地域社会システムと段階的アプローチ	大瀧	事例分析:フィリピンUMSS	大瀧	CBIC
2月21日 木	CBRと住民参加(事例:ネパール)	野崎	社会林業と住民参加(ネパール)	梅村 菅原	CBIC
2月22日 金	小規模金融とコミュニティ開発(バンクラテシ)	伊藤	ジェンダー問題とPLSD/夜:農業技術改良普及とPLSD(ホンデュラス)	梅村 菅原 /夜: 大瀧	CBIC
2月23日 土	PLSD総括論議(1)	大瀧			CBIC
2月24日 日	移動(名古屋→岐阜)		岐阜市内視察		CBIC
2月25日 月	地域福祉と住民参加	沢田	こまとの家視察	沢田	CBIC
2月26日 火	奥田匠野地区における住民参加	清水	奥田地区における住民活動とPLSD	荒木	CBIC
2月27日 水	地域経済活動と集落	河村	茶山町における住民活動事例		CBIC
2月28日 木			日本における伝統的慣習と社会発展	佐藤	CBIC
3月1日 金	日本の環境保護運動と住民参加	堀田	日本の伝統的社会保障制度	前木	CBIC
3月2日 土					CBIC
3月3日 日			移動(名古屋→飯田)		飯田
3月4日 月	飯田市都市計画	濱辺	「リンゴ並木」住民参加により維持管理		飯田
3月5日 火	飛騨公民館の地域住民活動	塩澤・下平	飯田市・公民館の仕組みと役割/夜:主事会との交流	/夜: 杉本	飯田
3月6日 水	集落・公民館・行政の連携・共同のメカニズム	長谷部	集落活動と集落/夜:地域交流会(ホームステイ)	長谷部	飯田
3月7日 木	JA(川路)と地域社会	熊谷	JA青年部の活動と地域社会	熊谷	飯田
3月8日 金	地域保健活動		保健所活動	木下	飯田
3月9日 土	飯田市発展の総括	大瀧	発表・評価/夜:移動(飯田→名古屋)	濱辺・塩澤・下平	CBIC
3月10日 日					CBIC
3月11日 月	プロジェクト・サイクル・マネージメント	菅原	プロジェクト・サイクル・マネージメント	菅原	CBIC
3月12日 火	プロジェクト・デザイン・マトリクス	菅原	プロジェクト・デザイン・マトリクス	菅原	CBIC
3月13日 水	村落計画	大瀧	村落計画	大瀧	CBIC
3月14日 木	PLSD モニタリング・エヴァリュエーション	大瀧	PLSD モニタリング・エヴァリュエーション	菅原	CBIC
3月15日 金	PLSD Training	大瀧	PLSD総括論議(2)	大瀧	CBIC
3月16日 土					CBIC
3月17日 日					CBIC
3月18日 月	プロジェクト改善(1)	大瀧・菅原	プロジェクト改善(2)	大瀧・菅原	CBIC
3月19日 火	プロジェクト改善(3)	大瀧・菅原	プロジェクト改善(4)	大瀧・菅原	CBIC
3月20日 水	プロジェクト改善(5)	大瀧・菅原	プロジェクト発表(1)	大瀧・菅原	CBIC
3月21日 木	プロジェクト発表(2)	大瀧・菅原 高根	プロジェクト発表(3)	大瀧・菅原	CBIC
3月22日 金	JICAプロジェクトスキーム	大瀧・菅原	JICAプロジェクトへのPLSD/夕方:閉講式・送別会	大瀧・菅原	CBIC
3月23日 土	研修全般の総括会	大瀧・菅原	移動(名古屋→大阪)		OSIC
3月24日 日					OSIC
3月25日 月	研修費帰国				

2) 研修員名簿

平成13年度第5回「参加型地域社会開発の理論と実践」一般特設研修コース (J-01-03352)

実施期間：平成14年2月4日-3月25日

JICA 中部国際センター

〒465-0094 名古屋市東区亀の井 2-73

TEL:052-702-1391 FAX:052-702-1397

日本福祉大学 (NFU)

〒470-8295 愛知県知多郡美浜町奥田

TEL:0569(87)2324 FAX:0569(87)1690

コースリーダー：大濱 裕 (NFU)

研修担当者：森 延仁 (NFU)

研修担当者：中衛智之 (JICA)

研修監理員：山本久子 (JICE)

No	写真 Photo	国名 (Country)	氏名 (Name)	現職及び所属先 (Present Post & Employer) 連絡先 (Contact Address)
1		East Timor 東ティモール (D-01-08047) C/PJ-01-11600	Ms. Henriqueta Maria da Silva (エダ)	Chief of Training and Communication Officer, Community Empowerment and Local Government Project(CEP) コミュニティエンパワーメント及び地方政府プロジェクト 研修・コミュニケーション担当 UMA CEP, Rua Bispo de Medeiros, Dili
2		Ethiopia エチオピア (D-01-10592)	Mr. Alemseged Dimtsu (アラム)	Team Leader, Bureau of Planning and Economic Development 計画経済開発局 チームリーダー P.O. Box 280, Mekelle Tigray
3		Indonesia インドネシア (D-01-08811) C/PJ-01-11665	Mr. Muh. Hasim (ハシム)	Staff, Section of Economic Activity and Rural Housing of PMD Takalar, Office of Rural Community Empowerment (PMD) of Takalar District タカラ地区地方コミュニティエンパワーメント事務所 経済事業・地方住宅部門スタッフ Jln. Syech Yusuf No.3-C of Takalar Tel: 62-0418-21023
4		Indonesia インドネシア (D-01-08812) C/P (J-01-11665)	Mr. Bakhtiar Mustari (バクハティアール)	Staff of Center for Public Policy and Development Management Studies(PSKMP), Hasanuddin University (UNHAS) Makassar ハサンudin大学 公共政策開発管理研究所スタッフ Jln.Perintis Kemerdekaan KM.10 Makassar Tel: 62-0411-586039
5		Indonesia インドネシア (D-01-10099)	Ms. Sri Redjeki (スリ)	External Affairs, Indonesian Institute of Community Education Care (NGO) インドネシアコミュニティ教育ケア協会 対外業務担当 Pedurangan Kidul II/78, Semarang Tel:62-24-6710853
6		Jordan ジョルダン (D-01-02025) C/PJ-01-11094	Ms. Nuha Muhreiz (ヌハ)	Program Supervisor, Family Planning and Gender in Dev. Project, The Jordanian Hashemite Fund for Human Development (JOHUD) ジョルダン人間開発基金 家族計画・開発とジェンダープロジェクト プログラム指導官 P.O.Box 5118, Amman 11183 Tel: 962-6-5531985
7		Malawi マラウイ (D-01-10135)	Ms. Clodina Chowa (クロディナ)	Agricultural Communication Officer, Agricultural Communication Branch, Min. of Agriculture & Irrigation 農業灌漑省 農業コミュニケーション支所 農業コミュニケーション担当官 P.O. Box 594, Lilongwe Tel: 265-755522
8		Malawi マラウイ (D-01-10194)	Mr. Wellington Chifundo Mitole (ウェリントン)	Community Development Officer, Blantyre City Assembly ブラントヤ市議会 コミュニティ開発担当官 Civic Center, PVT Bag 67, Blantyre Tel: 265-670211
9		Mexico メキシコ (D-01-10858)	Mr. Saul Chavarria Jimencz (サウル)	Senior, Food Assistance and Community Development, State System for Integral Family Development, Gov't of San Luis Potosi サンルイスポトシ州総合家族開発システム 食料支援・コミュニティ開発部門主任 Nicolas Fernando Torre 500 Colonia Jardin, C.P.78270, San Luis Potosi Tel: 444-813-1552
10		Nepal ネパール (D-01-10858)	Mr. Shiva Ram Pokhare (シヴァ)	Section Officer, Ministry of Local Development 地方開発省部門担当官 Punchock, Lalitpur Tel:00977-1-5-26079
11		Peru ペルー (D-01-10134)	Ms. Albina Cecilia Alvarez Salomon (セシリア)	Vice Mayor, Municipality of Jesus Maria ジェズマリア地区 副区長 Av. Mariategui 850, Lima 11 Tel: 0514-472-7035
12		Philippines (D-01-08935) フィリピン	Ms. Yolanda Cecilia A. Perez (ヨセル)	Project Development Officer III, Provincial Planning and Development Office, Eastern Samar 東サマル州計画開発室 プロジェクト開発担当官 Capitol Building, Borongan, Eastern Samar Tel: 055-261-2072
13		Philippines (D-01-08936) フィリピン	Ms. Regina Raganas Fernandez (ジーン)	Associate Project Officer III, Development Academy of the Philippines, Mindanao Office フィリピン開発アカデミー ミンダナオ校 准プロジェクトオフィサー-III 2nd Floor, CVA Bldg #6, Jacinto St., 8000 Davao City Tel:082-224-1487
14		Sri Lanka スリランカ (D-01-09757)	Mr. K.M.Y. Karunaratna (カル)	Assistant Lecturer (Social Work) National Institute of Social Development 国立社会開発研究所 アシスタント講師 (ソーシャルワーク) 191, Dharmapala Mawatha, Colombo 07 Tel: 00941-699486

INFORMATION ON GROUP TRAINING COURSE

***PARTICIPATORY LOCAL
SOCIAL DEVELOPMENT;
THEORIES AND PRACTICES***

JFY 2002

集団：参加型地域型社会開発の理論と実践

COURSE NO.: J-02-00727

February 3, 2003 ~ March 24, 2003



THE GOVERNMENT OF JAPAN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Preface

The Japanese Government extends official development assistance (ODA) to developing countries to support self-help efforts that will lead to economic progress and a better life for the citizens of those countries. Since its foundation in 1974, the Japan International Cooperation Agency (JICA) has implemented Japan's technical cooperation under the ODA programme. Currently, JICA conducts such activities as training, dispatch of experts, provision of equipment, project-type technical cooperation, development study, dispatch of cooperation volunteers (JOCV), survey and administration of capital grant aid programmes.

The training programme for overseas participants is one of JICA's fundamental technical cooperation activities for developing countries. Participants come from overseas in order to obtain knowledge and technology in a wide variety of fields.

The objectives of the JICA training programme are:

- (1) to contribute to the human resources development that would facilitate the advancement of developing countries, and
- (2) to contribute to the promotion of mutual understanding and collaboration.

In the field of social development, a lot of programmes and projects have presently been undertaken in developing countries. Particularly, Participatory Approach (PA) has largely been adopted in those activities because of its effectiveness in promoting people's participation in needs identification, decision-making, and capability building. JICA has also embarked on promotion of this PA type projects and now actually been extending several supports in different countries.

However, we have not always witnessed satisfactory level of achievement in terms of people's empowerment for their self-reliant development yet.

Faced with the above-mentioned situation, we focus on local people's potentiality toward self-reliant development and their specific indigenous mechanisms of local community system over resource utilization and management.

Taking that into consideration, this training course was established in 1997. This training course aims to provide local government officers (planners, trainers, and front-line practitioners) and NGO staffs with the opportunity to learn the theoretical framework and practical strategies, so that they could build up a more comprehensive capability to design and manage Participatory Local Social Development (hereafter PLSD) in respective areas and countries.

Studies based on Japanese local experiences, in terms of the functional mechanisms of traditional local communities and the tactful policy measures taken by local governments, would be useful and instrumental for participants in better understanding the core points of this training and subsequently in attaining the above-mentioned goals..

I. ESSENTIAL FACTS

COURSE TITLE	Group Training Course on Participatory Local Social Development; Theories and Practices (J-02-00727)
DURATION	February 3, 2003 – March 24, 2003
DEADLINE FOR APPLICATION	December 6, 2002 (for acceptance in the JICA office or the Embassy of Japan) *Country Report should be typewritten in accordance with the attached form (Annex) and submitted to JICA together with the Nomination Form.
NUMBER OF PARTICIPANTS	10
LANGUAGE	English
TARGET GROUP	Local government officers (planners, trainers and practitioners) or NGO staff, who are currently involved either in local social development planning and implementation or in training activities.
COURSE OBJECT	Upon successful completion of the course, the participants will: <ol style="list-style-type: none"> 1. gain comprehensive knowledge of the Participatory Approach as effective methodology for social preparation among target local people; 2. acquire the basic framework to analyze the local people's capability and mechanisms of resource utilization and management in the context of a local community / social system; 3. obtain comprehensive knowledge and skills of participatory local social development planning and management; and 4. be able to revise their respective present projects through review and analysis from PLSD viewpoints and perspectives.
TRAINING INSTITUTION (*: country code for Japan) (** : area code)	Nihon Fukushi University Okuda, Mihama-cho, Chita-gun, Aichi-ken, 470-3295 JAPAN Tel: 81(*)-569(**)-87-2211, Fax: 81(*)-569(**)-87-1690 Homepage address: http://www.n-fukushi.ac.jp Established: February 1953 President: Kanenori Suwa
ACCOMMODATIONS	<ul style="list-style-type: none"> • Chubu International Centre (CBIC), JICA 73 Kamenoi 2-chome, Meito-ku, Nagoya 465-0094 JAPAN Tel: 81(*)-52(**)-702-1391, Fax: 81(*)-52(**)-702-1397 • If no room is available at CBIC, JICA will arrange accommodations for participants at other appropriate places.
ALLOWANCES & EXPENSES	<p>The Government of Japan provides the following allowances and covers the following expenses through JICA in accordance with relevant laws and regulations:</p> <p><u>Details</u></p> <p>Round-trip air ticket between an international airport designated by JICA and Japan, accommodation allowance, living allowance, outfit allowance, book allowance, shipping allowance, expenses for JICA study tours, free medical care for participants who become ill after arrival in Japan (costs related to preexisting illness, pregnancy and dental treatment are not included), etc.</p>

II. CURRICULUM

The curriculum of this training is so arranged that participants could sequentially accumulate salient learning points with appropriate combination of conceptual and practical aspects.

Instructors and resource persons assigned for this training are composed of well-qualified professionals, who have rich experiences and extensive knowledge of PLSD both in developing countries and Japan, as United Nation officers, JICA experts and advisors, ex-NGO staff and university lecturers.

(1) 1st Week: Conceptual Framework and Practical Method for Participatory Local Social Development (PLSD)

In order to lay the foundation for the basic framework, the concepts and practical methods of Participatory Local Social Development (PLSD) shall be discussed extensively based on case examples from different countries. The major focus would be on:

- 1) Basic Concept of Participatory Local Social Development,
- 2) Three Development Elements and Self-Organizing Capability,
- 3) Local Societal System and Social Organizations,
- 4) Participatory Approach toward Social Preparation, and
- 5) Effective Supporting System for Participatory Local Social Development.

(2) 2nd Week: Sectoral Cases of PLSD Projects in Developing Countries

Several case examples from different sectors are to be introduced and discussed together with participants, based on the previous week's learning. The sectors to be covered herewith are as follows:

- 1) Primary Health Care Projects,
- 2) Income Generation Projects,
- 3) Environmental Protection/ Preservation Projects, and
- 4) Women in Development Projects.
- 5) Social Education

(3) 3rd Week: Introduction of Participants' Projects and of Sectoral Cases of PLSD Policy framework and Measures in Japan

Participants are to introduce their own projects and jointly have critical discussion among themselves to identify points for improvements. Also, the sectoral cases on PLSD in Japan shall be shared and discussed for participants to better understand the experiences in different social settings. The following points shall be covered:

- 1) Local Administration System and Local Communities,
- 2) Local Economic Development,
- 3) Local Environmental Protection/ Preservation,
- 4) Local Social Welfare Administration Policies, and
- 5) Local Social Welfare Practices.

(4) 4th Week: Field Trip to PLSD sites

Participants visit some local communities in Nagano Prefecture, located in Central Japan, where local people are self-reliantly engaged themselves in PLSD activities or community revitalization, based on their own indigenous experiences, with tactful support from local governments and private firms. Participants are expected to learn directly from those local people and local government officers through dialogues and interviews, as well as from mutual discussions among themselves based on their findings.

(5) 5th Week: Exercises in PLSD Village Planning, Monitoring and Evaluation

Innovative viewpoints for PLSD village planning, monitoring and evaluation shall be given and extensively discussed in connection with Project Cycle Management so that front-line planners and practitioners would widen their scope of development management based on particular situation and condition of target communities and improve their practical knowledge and skills for their mandates and tasks. In addition, JICA's PCM (Project Cycle Management) method shall also be introduced as one of the useful frameworks to formulate an appropriate project design in a specific local context. Participants are to conduct workshops by themselves after lectures in order to master those methods for Project Cycle Management

(6) 6th Week: Improvement/ Alternation of Participants' own projects

With all the input and learning in the previous weeks, participants improve/ alternate their own projects through either individual or group work. Newly designed projects are presented respectively and openly discussed for further refinement with other fellow participants and instructors/ resource persons. The final output is recommended to be implemented by participants in their own country.

III. REQUIREMENT FOR APPLICATION

Applicants should:

- (1) be local government officers (planners, trainers and practitioners) or NGO staff, who are currently involved either in local social development planning and implementation **for rural areas** or in training activities related to the same (Urban development programmes are not target in this course);
- (2) be university graduates or the equivalent, with occupational experience of more than 3 years;
- (3) be between twenty-eight (28) and forty-five (45) years old;
- (4) **have a sufficient command of spoken and written English (At least TOEFL 500 is required.), submit any score sheet of TOEFL with the Nomination Form if he / she is not from the country where English is an authorized common language;**
- (5) be nominated by their government in accordance with the procedures mentioned in IV below;
- (6) be in good health, both physically and mentally, to undergo the course of training;
- (7) have ability of mutual communication skills (We expect participants to actively also cooperatively take part in the workshop & discussions.); and
- (8) not be serving in the military.

*Participation of a pregnant lady will be declined due to avoidance from any affects caused by different environment in life (e.g., flight, stay in Japan, etc.) and difficulties in receiving necessary and timely care.

ATTENTION

Participants are required:

- (1) not to change course subjects or extend the course period,
- (2) not to bring any members of their family,
- (3) to return to their home country at the end of their course according to the international travel schedule designated by JICA,
- (4) to refrain from engaging in political activities or any form of employment for profit or gain, and
- (5) to observe the rules and regulations of their place of accommodation and not to change accommodations designated by JICA.

IV. PROCEDURE FOR APPLICATION

- (1) A government desiring to nominate applicants for the course should fill in and forward three (3) copies of the Nomination Form (Form A2A3) for each applicant, to the JICA office (or the Embassy of Japan) **by December 6, 2002.**
- (2) The JICA office or the Embassy of Japan will inform the applying government whether or not the nominee's application has been accepted **no later than January 10, 2003.**

(3) COUNTRY REPORT and QUESTIONNAIRE

Participants are requested to prepare a report on the present situation of their own programme /project in their countries. This country report should be typewritten in accordance with the attached form (Annex) and submitted to JICA together with the Nomination Form.

The country reports are used for the screening applicants and training materials for this course.

No applicant is eligible without submission of the country report.

V. OTHER MATTERS

(1) Pre-departure orientation is held at JICA overseas offices (or Japanese diplomatic missions) to provide the selected candidates with details on travel to Japan, conditions of training, and other matters. Participants will see a video "TRAINING IN JAPAN", and will receive a textbook and cassette tape, "SIMPLE CONVERSATION IN JAPANESE". A brochure "GUIDE TO TRAINING IN JAPAN" will be handed to each selected candidate before (or in the time of) the orientation.

(2) Participants who have successfully completed the course will be awarded a certificate by JICA.

(3) Accommodations Notice

1) Participants will arrive at and depart from Kansai(Osaka)International Airport and will stay at the Osaka International Centre(OSIC), for the first and the last two days of their visit to Japan.

Osaka International Centre (OSIC), JICA

Address: 25-1, Nishi-Toyokawa-cho, Ibaraki-shi, Osaka-fu 567-0058, Japan

Tel: 81-726-41-6900 Fax: 81-726-41-6915

*If no room is available at OSIC, JICA will arrange accommodations for participants at other appropriate places.

2) Participants will travel to Nagoya and stay at Chubu International Centre (CBIC), during the technical training, phase of the course. **At CBIC, participants will share the shower room and toilet.**

Chubu International Centre (CBIC), JICA

Address: 2-73, Kamenoi, Meito-ku, Nagoya-shi, Aichi-ken 465-0094, Japan

Tel: 81-52-701-1391 Fax: 81-52-702-1397

ANNEX

Guidelines for Country Report

1. The country report should be up to 20 pages in length and be typewritten (A4 size)

2. Coverage of the country report

(1) General information

(a) Administration hierarchy

Draw a chart of the general administration hierarchy from the national level down to the village level. Also, describe the similar structure of social units within a village, for example, settlement, neighborhood group, etc. This ought to be given with supplemental information about the size in terms of area coverage and / or number of households / population at the respective levels.

(b) Traditional collective actions and social organizations

Identify local people's traditional collective actions (e.g., mutual support practices, social events such as funerals, festivals, marriages etc.) and social organizations (irrigation association, cooperatives, day-care groups, religious / cultural groups etc.) of any kind that are generally practiced and / or observed in their day-to-day life on a nation-wide basis. Describe each of them in terms of:

- Name,
- Objectives,
- Membership,
- Resources utilized and nature of their ownership (e.g., private, state, collective and communal),
- Organizational arrangement,
- Rules observed,
- Level and / or social unit, and
- Linkage and / or networks with external organizations.

(2) Specific information on the on-going Local Social Development project

(a) Community profile

Give the social profile of a target community to which your Participatory Local Social Development (PLSD) project presently addresses in terms of Social, Political, Economic and Cultural (SPEC) settings. In addition, special attention should be given to the following two points:

- Identify the specific collective actions and social organizations from among those listed in the above section. If there are any particular, unique ones found only in the target area or community, additionally describe them in accordance with the guidelines given above, and
- Identify common resources / facilities in the community. If there are any, describe people's experiences in and mechanisms of their utilization and management, based on the above guidelines.

(b) Project description

Describe your PLSD project in a compact form so as to cover the following points:

- Project title,
- Objectives and goals,
- Specific issues and problems that the project addresses,
- Approach adopted (e.g., resource provision, organization building, value formation, and their combination),
- Measures and components,
- Organization arrangements in terms of organization structure, people participation mechanisms, and institutional linkage with external support GO agencies and local NGOs,
- Relevance of project organization to indigenous / traditional social organization in the target community,
- Project phasing with role delineation among GO, NGOs, POs and other external supporting groups,
- Rules and By-laws adopted in the project organization, and
- Level and / or unit where the project is being implemented.

(c) Participatory Approach

Discuss your participatory methods used in your project in connection with the following points:

- Specific method utilized to elicit people's participation,
- Area of activities in which pa is utilized,
- Effectiveness / shortcoming of pa in terms of the outcomes,
- Possible alternatives to the above.

(d) Applicant's assessment / evaluation of the Local Social Development project

Assess / evaluate the present achievements of your project, identify issues / problems you are facing; and elaborate possible solutions along with their rationale. When working, due consideration should be given to the following points:

- Appropriateness / effectiveness of the approach, measures and components adopted in the context of achievement of objectives and goals,
- Appropriateness of the approach in light of the characteristics of the target local community,
- Effectiveness of the development of measures and components in terms of phase setting toward people's capability building,
- Appropriateness / effectiveness of role delineation among GOs, NGOs, POs, etc.,
- Sufficiency of organization arrangements in terms of project supporting setups as well as of people's participation,
- Appropriateness in selection of project implementation level and /or unit, and
- Relevance to local experiences in the traditional pattern of resource utilization and management.

資料 6

2) 研修員名簿

平成 13 年度第 5 回「参加型地域社会開発の理論と実践」一般特設研修コース (J-01-03352)

実施期間: 平成 14 年 2 月 4 日-3 月 25 日

JICA 中部国際センター

〒465-0094 名古屋市長区東区亀の井 2-73

TEL:052-702-1391 FAX052-702-1397

日本福祉大学 (NFU)

〒470-8295 愛知県知多郡美浜町奥田

TEL:0569(87)2324 FAX:0569(87)1690

コーディネーター: 大濱 裕 (NFU)

研修担当者: 森 延仁 (NFU)

研修担当者: 中衛智之 (JICA)

研修監理員: 山本久子 (JICE)

No	写真 Photo	国名 (Country)	氏 名 (Name)	現 職 及 び 所 属 先 (Present Post & Employer) 連 絡 先 (Contact Address)
1		East Timor 東ティモール (D-01-08047) C/P(J-01-11600)	Ms. Henriqueta Maria da Silva (エタ)	Chief of Training and Communication Officer, Community Empowerment and Local Government Project(CEP) コミュニティ・エンパワメント及び地方政府プロジェクト 研修・コミュニケーション担当長 UMA CEP, Rua Bispo de Medeiros, Dili
2		Ethiopia エチオピア (D-01-10592)	Mr. Alemseged Dimtsu (アラム)	Team Leader, Bureau of Planning and Economic Development 計画経済開発局 チームリーダー P.O. Box 280, Mekelle Tigray
3		Indonesia インドネシア (D-01-08811) C/P(J-01-11665)	Mr. Muh. Hasim (ハシム)	Staff, Section of Economic Activity and Rural Housing of PMD Takalar, Office of Rural Community Empowerment (PMD) of Takalar District タカラ地区地方コミュニティ・エンパワメント事務所 経済事業・地方住宅部門スタッフ Jln. Syech Yusuf No.3-C of Takalar Tel: 62-0418-21023
4		Indonesia インドネシア (D-01-08812) C/P (J-01-11665)	Mr. Bakhtiar Mustari (バクハティアール)	Staff of Center for Public Policy and Development Management Studies(PSKMP), Hasanuddin University (UNHAS) Makassar ハサン・ウディン大学 公共政策開発管理研究所スタッフ Jln.Perintis Kemerdekaan KM.10 Makassar Tel: 62-0411-586039
5		Indonesia インドネシア (D-01-10099)	Ms. Sri Redjeki (スリ)	External Affairs, Indonesian Institute of Community Education Care (NGO) インドネシアコミュニティ教育ケア協会 対外業務担当 Pedurangan Kidul II/78, Semarang Tel:62-24-6710853
6		Jordan ジョルダン (D-01-02025) C/P(J-01-11094)	Ms. Nuha Muhreiz (ヌハ)	Program Supervisor, Family Planning and Gender in Dev. Project, The Jordanian Hashemite Fund for Human Development (JOHUD) ジョルダン人間開発基金 家族計画・開発とジェンダープロジェクト プログラム指導官 P.O.Box 5118, Amman 11183 Tel: 962-6-5531985
7		Malawi マラウイ (D-01-10135)	Ms. Clodina Chow (クロディナ)	Agricultural Communication Officer, Agricultural Communication Branch, Min. of Agriculture & Irrigation 農業灌漑省 農業コミュニケーション支所 農業コミュニケーション担当官 P.O. Box 594, Lilongwe Tel: 265-755522
8		Malawi マラウイ (D-01-10194)	Mr. Wellington Chifundo Mitole (ウェリントン)	Community Development Officer, Blantyre City Assembly ブランタイレ市議会 コミュニティ開発担当官 Civic Center, PVT Bag 67, Blantyre Tel: 265-670211
9		Mexico メキシコ (D-01-10858)	Mr. Saul Chavarria Jimenez (サウル)	Senior, Food Assistance and Community Development, State System for Integral Family Development, Gov't of San Luis Potosi サンルイス・ポトシ州総合家族開発システム 食料支援・コミュニティ開発部門主任 Nicolas Fernando Torre 500 Colonia Jardin, C.P.78270, San Luis Potosi Tel: 444-813-1552
10		Nepal ネパール (D-01-10858)	Mr. Shiva Ram Pokhare (シヴァ)	Section Officer, Ministry of Local Development 地方開発省副官 Punchock, Lalitpur Tel:00977-1-5-26079
11		Peru ペルー (D-01-10134)	Ms. Albina Cecilia Alvarez Salomon (セシリア)	Vice Mayor, Municipality of Jesus Maria ジェズ・マリア地区 副市長 Av. Mariategui 850, Lima 11 Tel: 0514-472-7035
12		Philippines (D-01-08935) フィリピン	Ms. Yolanda Cecilia A. Perez (ヨセル)	Project Development Officer III, Provincial Planning and Development Office, Eastern Samar 東サマル州計画開発室 プロジェクト開発担当官 Capitol Building, Borongan, Eastern Samar Tel: 055-261-2072
13		Philippines (D-01-08936) フィリピン	Ms. Regina Raganas Fernandez (ジーン)	Associate Project Officer III, Development Academy of the Philippines, Mindanao Office フィリピン開発アカデミー ミンダナオ校 准プロジェクトオフィサー III 2nd Floor, CVA Bldg #6, Jacinto St., 8000 Davao City Tel:082-224-1487
14		Sri Lanka スリランカ (D-01-09757)	Mr. K.M.Y. Karunaratna (カル)	Assistant Lecturer (Social Work) National Institute of Social Development 国立社会開発研究所 アシスタント講師 (ソーシャルワーク) 191, Dharmapala Mawatha, Colombo 07 Tel: 00941-699486

平成12年度「参加型地域社会開発の理論と実践」一般特設研修コース







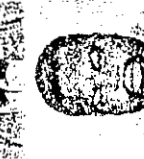
List of Participants of the Group Training Course in




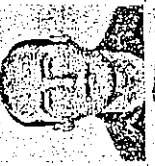

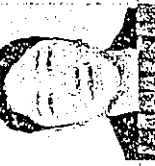

Participatory Local Social Development : Theories and Practices

平成13年2月5日-3月26日 (February 5~March 26, 2001)

コースリーダー: 大濱 裕 (NFU)
 研修担当者: 学多恵子 (NFU)
 研修担当者: 中瀬智之 (JICA)
 研修監理員: 沢 徹 (JICE)

JICA中部国際センター 465-0094 名古屋市名東区亀の井2-73
 TEL: 052-702-1391 FAX: 702-1397
 日本福祉大学 (NFU) 470-3295 愛知県知多郡美浜町美田
 TEL: 0569-87-2324 FAX: 87-3973

No	写真 Photo	国名(Country) (研修員番号)	氏名 (Name) 食事制限	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)
1		Bangladesh バングラデシュ (D-00-10830)	Mr. Md. Habibur Rahman ハビブ (肉類不可)	Oct. 10, 1965	MSc. Electronics & Computer Science, Dhaka University	Assignment Officer, Prime Minister's Office 総理府職員
2		Indonesia インドネシア (D-00-01689) C/P (J-00-10340)	Mr. Darmawan Salman ダルマワン (肉類不可)	Jun. 6, 1963	Sociology-Anthropology (Ph. D) Padjadjaran University	Staff, Center for Development Policy and Management Studies (PSKMP), Hasanuddin University ハサヌディン大学 開発政策・管理学センター職員
3		Indonesia インドネシア (D-00-09650) C/P (J-00-11588)	Mr. Syafuddin ウダイン (肉類不可)	Nov. 11, 1957	Natural Resource Economics Hasanuddin University	Training Specialist & Research Consultant, Environmental Partner Institute 環境保護団体 専門員
4		Indonesia インドネシア (D-00-11275)	Mr. Tiatur Kuku Surjanto チャトゥー (肉類不可)	Oct. 27, 1957	Architecture, Institute of Technology	Social Development Expert, Community Residential Settlement Foundation (YKPR) 地域定住促進財団 社会開発専門員
5		Kenya ケニア (D-00-02591) C/P (J-00-11242)	Mr. Josphat Kipkemei Langat Maina マイナ	Jan. 18, 1956	Rural Development, East University	Assitant Livestock Production Officer II, Ministry of Agriculture and Rural Development 地方開発・農業省 家畜生産担当官補佐
6		Kenya ケニア (D-00-11172)	Mr. Nderitu Charles Macharia ンデリトゥ	Apr. 27, 1965	Agricultural Engineering, Egerton University	Irrigation Engineer, Ministry of Agriculture and Rural Development 地方開発・農業省 灌漑技師
7		Malawi マラウイ (D-00-11177)	Mr. Francis Mtayi Duwe Sakala サカラ	Dec. 15, 1966	Political Philosophy, University of Malawi, Chancellor College	Administrative Officer/Monitoring and Evaluation Officer, Department of District and Local Government Administration 地方行政局 評価担当官







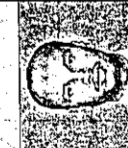


No	写真 Photo	国名(Country) (研修員番号)	氏名 (Name) 食事制限	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)
8		Mexico メキシコ (D-00-11467)	Mr. <u>Figueroa Rodriguez</u> Jose Ricardo ホセ	May. 21, 1971	Mechanical Agricultural Engineering Autonomy University of Chapingo	Resident of Construction of Rural Programs and Social Participation Unity, National Commission of Water 政府水資源委員会 社会参加・地域プログラム 実務担当官
9		Namibia ナミビア (D-00-111176)	Mr. <u>Muree Ismael</u> Tjueza モレー	Jun. 25, 1962	Marketing Australia	Chief Training Officer, Prime Minister's Directorate of Human Resource Development 総理府人材開発局 研修担当官
10		Peru ペルー (D-00-11034)	Ms. <u>Alicia del Pilar</u> Tello Rozas アリスア	Jan. 9, 1969	Biology, Federal University of Rio de Janeiro	Training Coordinator, Escuela Major de Gestion Municipal 地方行政管理高等専門学校 研修コーディネーター
11		Peru ペルー (D-00-11035)	Mr. <u>Edgar Pozo Ore</u> エドガー	May. 8, 1968	Administration, F. Villarreal University	Assistant Advisor, Participatory Agreement Commission, Municipalidad Provincial de Huanta Huanta県庁 住民参加委員会アドバイザー
12		Philippines フィリピン (D-00-09390)	Mr. <u>Crispin Q. Tria</u> クリスピン	Apr. 13, 1964	Mechanical Engineering Bataan Heroes Memorial Colledge	Officer in Charge, Philippines Rural Reconstruction Movement (PRRM) フィリピン地方再建運動組織 担当官
13		Philippines フィリピン (D-00-10591)	Ms. <u>Minda Bulatao</u> Brigoli ミンダ	Apr. 28, 1954	M. A., Social Work University of the Philippines	Social Welfare Officer IV, Department of Social Welfare and Development, Field Office XI 社会福祉開発局第11事務所 社会福祉担当官
14		Sri Lanka スリランカ (D-00-10827)	Mr. <u>Kankanam</u> Pathirana パティライナ (牛肉不可)	Dec. 23, 1960	Social Works, School of Social Works, Sri Lanka	Social Services Officer, Ministry of Social Services 社会事業省 社会事業担当官

平成11年度「参加型地域 会開発の理論と実践」一般特設研修コース

講師：大宮 裕 (NFU)
 研修担当者：大久保品光 (JTICA)
 研修監理員：沢 徹 (JTICE)

JICA 中部国際センター 〒465-0094 名古屋市長区東区亀の井2-73
 TEL:052-702-1391 FAX:702-1397
 日本福祉大学 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田
 TEL:0569-87-2324 FAX:87-1690

No	写真 Photo	国名 (Country) (研修員番号)	氏名 (Name) 食事制限	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)	連絡先住所 (Address for Correspondence)
1		Cambodia (D-99-11678) カンボディア	Ms. Te Vouch Lim リム	June 6, 1973 29 才	Certificate, Contract Law Faculty of Business 商学部 契約法	Chief of Credit Office, Ministry of Women's and Veteran's Affairs 高齢者・女性省 信託室 主任	c/o Ministry of Women's and Veterans' Affairs, Cambodia
2		Ethiopia (D-99-11364) エチオピア	Mr. Senbeta Habtamu Dadi ハブタム	September 21, 1967 32 才	B.Sc. Plant Science Alemaya University of Agriculture アレマヤ農大 植物学	Head of Office, Planning and Economic Development Office 企画・経済開発室 室長	c/o Oromia Planning and Economic Development Bureau, Ethiopia
3		Indonesia (D-99-02208) (C/P) インドネシア	Mr. Mustaran Andi Muchsin ムスラン (肉類不可)	August 27, 1968 31 才	S1 Certificate, Fishery Hasanudin University ハサヌディン大学 水産学	Staff of Planning Division, Office of Rural Community Development (PMD) of South Sulawesi Province 南スラウェジ州地域開発局 企画部職員	Jln. Mon. Emmy Sailan Cokoni Dalam 1/52 A7 South Sulawesi Indonesia
4		Indonesia (D-99-02209) (C/P) インドネシア	Ms. Sitti Bulkis Daud ブルキス (肉類不可)	August 29, 1961 38 才	S-2 Degree, Rural Sociology, Institute of Agriculture, Bogor ボゴール農大 農村社会学	Staff of Center for Development Policy and Management Studies (PSKMP), Hasanuddin University ハサヌディン大学開発管理センター職員	Perumahan Dosen Unhas Tamanrenea, Blok R-21 U.P.90245, Indonesia
5		Indonesia (D-99-11486) インドネシア	Ms. Ririn Sabarina リリン (肉類不可)	September 22, 1962 37 才	Agricultural Extension and Rural Sociology, Bogor Agricultural Univ. ボゴール農大 農村社会学	Project Officer, Yayasan Indonesia Sejahtera “ヤヤサン・インドネシア” プロジェクト担当職員	c/o Yayasan Indonesia Sejahtera, J.L. Tanjung No.96, Soropadan Solo, Indonesia
6		Kenya (D-99-03153) (C/P) ケニア	Mr. Asawo Leopold Othieno アサウォ	March 13, 1963 36 才	Agricultural Engineering, Nairobi University ナイロビ大学 農業工学	Irrigation Engineer, Ministry of Agriculture 農業省 灌漑技師	P.O.Box 1700, Kisumu, Kenya
7		Kenya (D-99-11366) ケニア	Ms. Masese Grace Clare グレース	October 18, 1955 44 才	M.A., Urban Regional Planning, University of Nairobi ナイロビ大学 都市計画 (修士)	Principal Social Development Officer, Ministry of Local Government 地方公共団体省 社会開発担当主任	P.O.Box 61083 Nairobi, Kenya
8		Malaysia (D-99-11265) マレーシア	Mr. Ahmad Sukri Bin Jusoh シュクリ (肉類不可)	September 18, 1960 39 才	B.A., Management, National University of Malaysia マレーシア国立大 経営学	KEDA Development Officer (Head of KEDA Zone 3), Kedah Regional Development Authority, Pendang ケダ地域開発公社 開発担当	c/o KEDA P.O.Box 195, 05720 Alor Setar, Kedah Darul Aman, Malaysia

No	写真 Photo	国名 (Country) (研修員番号)	氏名 (Name) 食事制限	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)	連絡先住所 (Address for Correspondence)
9		Malaysia (D-99-11271) マレーシア	Mr. Raimal Bin Lasumin ライナル (肉類不可)	November 11, 1960 39才	BSc., Sociology Malaysian University of Science マレーシア科学大 社会学	Training Officer, Rural Development Corporation 地域開発公社 研修担当職員	c/o Rural Development Corporation, Locked Bag 86, 88998 Kota Kinabalu, Malaysia
10		Nepal (D-99-02783) (C/P) ネパール	Mr. Prakash Regmi プラカス (牛肉不可)	November 23, 1954 45才	BSc., Agriculture, Institute of Agriculture and Animal Science 農業畜産大学 農学	Officer, District Soil Conservation Office 地方土壌保全局 職員	c/o District Soil Conservation Office, Kaski, Nepal
11		Nepal (D-99-11772) ネパール	Mr. Bharat Kumar Regmi バハラット (牛肉不可)	January 28, 1961 39才	MBA, Marketing Shanker Dev Campus, T.U. トリブバン大学 マーケティング(修士)	Section Officer, Planning Section, Ministry of Local Development 地方開発省 企画担当職員	c/o Ministry of Local Dev. Planning Sec. Shreemahal Pulchowk, Lalitpur, Nepal
12		Philippines (D-99-02332) (C/P) フィリピン	Ms. Cherrie Lucas Mangoba (Ching) チン	February 25, 1960 39才	BSc., Civil Eng. Central Luzon Polytechnic College 中央ルソン大学 土木工学	Senior Agrarian Reform Program Officer, Department of Agrarian Reform 農業改革局 プログラム担当職員	San Fernin, Cauayan, Isabela, Philippines
13		Philippines (D-99-02341) (C/P) フィリピン	Ms. Rosa Edna Lucero Hubahib (Aina) アイナ	August 30, 1960 39才	M.A., Public Management UP Cebu College フィリピン大学セブ校 経営学(修士)	Chief Economic Development Specialist, National Economic and Development Authority(NEDA), Region 7 Office 経済開発公社 主任専門員	c/o NEDA Region 7 Office, Leonisa Bldg., Escario St., Cebu City, Philippines
14		Philippines (D-99-10967) フィリピン	Mr. Ruel Guillergan Lucentales (Hong) ボン	March 30, 1954 45才	M.A., Social Work, Univ. of the Philippines フィリピン大学 ソーシャルワーク(修士)	Director IV, Department of Social Welfare and Development, Field Office XI 社会福祉開発局 部長	c/o DSWD-Field Office XI, R.Magsaysay Ave., 8000 Davao City, Philippines
15		Sri Lanka (D-99-02814) (C/P) スリランカ	Mr. Nimal Jayalath Hathotuwa Gamage ガマゲ	December 28, 1962 37才	BSc., Agriculture University of Peradeniya ペラデニア大学 農学	Project Manager, Wayamba Development Authority ワヤンバ開発公社 プロジェクト・マネジャー	c/o Wayamba Development Authority, Chief Ministry, "Maligawa", Kurunegala, Sri Lanka
16		Tanzania (D-99-10650) タンザニア	Ms. Hellen Raymond Macha ヘレン	June 6, 1959 40才	Advanced Diploma, Public Adm., Institute of Development & Management 経営開発工大 行政学	District Executive Director, Kibondo District Council キボンド地域評議会 地域担当部長	c/o Kibondo District Council P.O. Box 43, Kibondo, Tanzania
17		Thailand (D-99-10375) タイ	Ms. Suttini Wattanakul ステイーニ	September 29, 1967 32才	MSc., Health Services & Public Health Research, University of Aberdeen, UK アバディーン大学 (英国) 公衆衛生学 (修士)	Lecturer, Sirindhorn Public Health College, Ubonratchathani Province シリドホン公衆衛生大学 講師	c/o Sirindhorn Public Health College, Warinchamrap Dist. Ubonratchathani, 34190 Thailand

6. 研修員名簿

平成10年度「参加型地域社会開発の理論と実践」一般特設研修コース

List of the Participants of the Group Training Course in

Participatory Local Social Development ; Theories and Practices

平成11年1月25日-3月25日 (January 25 ~ March 25, 1999)

コーディネーター：大濱 裕 (NFU) Yutaka OHAMA (Course Leader)

研修担当者：堀本隆保 (JICA) Takayasu HORIMOTO (Training Officer)

研修監理員：沢 徹 (JICE) Toru SAWA (Training Coordinator)

JICA 名古屋国際研修センター

465 名古屋市長区電の井 2-73










TEL:052-702-1391 FAX:702-1397

日本福祉大学

470-8295 愛知県知多郡美浜町奥田

TEL:0569-87-2211 FAX:87-1690

No	写真 Photo	国名 (Country) (研修員番号)	氏名 (Name)	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)	連絡先住所 (Address for Correspondence)
1		Bolivia ボリブイア D-98-11648	Ms. Monica Cecilia LORA De Jordan モニカ	May 31, 1951 47歳	U.C.B. (Economics)	Advisor of the Prefecture Prefecture of Department of La Paz ラパス県庁アドバイザー	27 "A" St. No.200, Zone Calacoto, La Paz, Bolivia
2		Bolivia ボリブイア D-98-11649	Ms. Roxana VICUNA Arispe ロクサーナ	Sep. 14, 1959 39歳	UFRRJ MSc. (Agriculture Development)	Professor, Universidad Privada Franz Tamayo フランソ・タマヨ大学 教授	Casilla 2117, La Paz, Bolivia
3		Ethiopia エチオピア D 98-02901	Mr. Tsegaye HAILE ハイレ (豚肉不可)	Dec. 26, 1950 48歳	Addis Abeba University (Sociology)	Senior Sociologist Ministry of Water Resources 水資源省主任研究員	P.O.Box 170164, Addis Abeba, Ethiopia
4		Ethiopia エチオピア D-98-11646	Mr. Mengistu Tiruneh YENENEH メンゲスト (豚肉不可)	Aug. 24, 1960 38歳	Debre Zeit Agri. College (Rural Economic & Social Development)	Monitoring and Evaluation Expert Amhara National Regional State アムハラ州政府モニタリング・評価担当専門家	P.O.Box 560 Bahirdar Ethiopia
5		Indonesia インドネシア D-98-02910	Mr. Muhammad FIRDA フィルダ (豚肉不可)	Oct. 11, 1965 35歳	Hasanuddin University (Public Administration)	Head of Housing and Village Circle, Office of Rural Community Development of South Sulawesi 南スラウェシ州地方開発局 住宅・農村担当主任	Kompleks Dosen Unhas Tamanrenea, Block AG/19 Ujung Pandang Indonesia
6		Indonesia インドネシア D-98-02911	Ms. Nixia Tentriawanu RADI ニーション (豚肉不可)	Nov. 7, 1972 26歳	Hasanuddin University (Social Economic of Agriculture)	Staff of Pskmp, Center for Development Policy and Management Studies 開発政策研究センター 職員	Jl. Yosef Latumahina No.38, Ujung Pandang, 90112 Indonesia
7		Indonesia インドネシア D-98-10560	Ms. IDA Widiansingih イダ (豚肉不可)	Jun. 15, 1970 28歳	Padjadjaran University (Public Administration)	Community Development Specialist, LSP (Lembaga Studi Pembangunan); Institute for Development Studies 開発研究所 地域開発専門員	Cividey Kulon No.55/96 Bandung, Indonesia 40973

No	写真 Photo	国名 (Country) (研修員番号)	氏名 (Name)	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)	連絡先住所 (Address for Correspondence)
8		Nepal ネパール D-98-03499	Ms. Maya BUDHATHOKI マヤ	Dec. 11, 1957 41歳	Gorakhpur University (Sociology Education)	Field Manager, Team Organization Local Institute TOLI (NGO) フィールド・マネージャー	T.O.L.I. Indrapri Tole, Pokhara, Kaski District, Gandaki Zone Nepal
9		Nepal ネパール D-98-11647	Mr. Seeta Ram CHOWDHARI チャウダリ (牛・豚肉不可)	May 1, 1947 51歳	Tulane University (Public Health)	Under Secretary, Ministry of Women and Social Welfare 社会福祉女性省 次官級担当官	Ministry of Women & Social Welfare, Kathmandu, Nepal
10		Nepal ネパール D-98-11681	Mr. Achyut Raj SHARMA シャルマ (牛・豚肉不可)	Apr. 14, 1955 43歳	Tribhuvan University (Political Science)	Program Officer, Ministry of Women and Social Welfare 社会福祉女性省 企画官	Ministry of Women & Social Welfare, Kathmandu, Nepal
11		Papua New Guinea パプア・ ニューギニア D-98-11636	Mr. Bobby BIREO ボビエ (豚肉不可)	Oct. 29, 1968 30歳	PNG Institute of Public Administration	Local Government District Coordinator, Department of Central 中央政府 地方担当コーディネーター	P.O. Box 1793 Boroko, Papua New Guinea
12		Philippines フィリピン D-98-03078	Mr. Ariel Cuevas ESCALONA アリ	Nov. 7, 1960 38歳	Cebu Normal University	Planning Officer I, Provincial Planning & Development Office 地域企画開発局 企画官 I	41 Holy Spirit Village, Pagsabangan, Mandue City 6014 Philippines
13		Philippines フィリピン D-98-03080	Ms. Baby Carlilla MANUEL ベイビー	Feb. 9, 1962 36歳	University of San Jose (Man. Engineering)	Planning Officer I, Provincial Planning & Development Office 地域企画開発局 企画官 I	Provincial Planning & Dev. Office, Cebu City, Philippines
14		Philippines フィリピン D-98-11641	Ms. Elenor Palmones HOMO ノリ	Aug. 29, 1953 45歳	Aquinas University (Social Work)	Social Welfare Officer III, City Social Welfare & Development Office, Government of Legaspi レガスピ市社会福祉開発局 社会福祉担当官 III	Purok2-Cruzada, Legaspi City, Philippines
15		Tanzania タンザニア D-98-11653	Mr. Louis Hosca CHAMBI チャンビ	Jul. 15, 1956 42歳	Institute of Development Management (Economic Planning)	District Planning Officer, Sumbawanga District Council スンバワンガ地方評議会 企画官	Sumbawanga District Council Box 229, Sumbawanga Tanzania
16		Tanzania タンザニア D-98-11654	Ms. Bertina Mathias MASAGASI マサガス	Dec. 30, 1961 37歳	Community Development Training Institute (Social Science)	WID Officer, Inlala Zone, Community Development Department 地域開発局 WID 担当官	P.O. Box 1886 D'Salaam, Tanzania

6. 研修員名簿

平成9年度「参加型地域社会開発の理論と実践」一階特設研修コース
 List of the Participants of the Group Training Course in
 Participatory Local Social Development: Theories and Practices
 平成10年 1月26日-3月29日 (January 26 ~ March 29, 1998)

JICA 名古屋国際研修センター
 465 名古屋市名東区電の井2-73
 TEL: 052-702-1391 FAX: 702-1397

コースリーダー: 大濱 裕 (NFU) Yutaka OHAWA (Course Leader)
 研修担当者: 堀本隆保 (JICA) Takayasu HORIMOTO (Training Officer)
 研修監理員: 沢 徹 (JICE) Toru SAWA (Training Coordinator)

日本福祉大 学
 470-8295 愛知県知多郡美浜町奥田
 TEL: 0569-87-2211 FAX: 87-1690

No	写真 Photo	国名 (Country) (研修員番号)	氏名 (Name)	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)	連絡先住所 (Address for Correspondence)
1		Brazil ブラジル D-97-09955	Ms. Ana Cristina De Souza Vieira アナ	Sep. 12. 1952	P. U. L. (Social Work) Ph. D	Teacher, Social Work Dept., Federal University 連邦大学・社会福祉学部 教員	Rua Helio Falcao 485 AP 402, 51021-070, Recife, Pernambuco BRAZIL
2		Ethiopia エチオピア D-97-09036	Mr. Berhanu Webratu Meles ベルハヌ	Mar. 30. 1962	A. Abeba University B. A. (Geography)	Plan and Project Team Leader, Education Bureau, Amhara National Regional State アムハラ州政府 企画・プロジェクトリーダー	c/o Amhara National Education Bureau Bahirdar, ETHIOPIA
3		Ethiopia エチオピア D-97-09037	Mr. Murutse Desta Yeabyo ムルツェ	Jan. 17. 1954	Institute of Social Studies, MSc. (Regional development plan- ning)	Department Coordinator, Tigray Planning and Economic Development Bureau 経済開発企画局コーディネーター	Planning & Economic Dev. Bureau, P.O.Box 230 Mekelle, Tigray, ETHIOPIA
4		Indonesia インドネシア D-97-09957	Ms. Luarni Lapi Sumoredjo ルアニ	Aug. 01. 1950	Gajzah Mada University (Sociology)	Head, Division for Planning Data Analysis, Planning Bureau 企画局 企画・分析官	Blok CC 35/39 Taman Wisma Asri Bekasi Utara, INDONESIA
5		Indonesia インドネシア D-97-09958	Ms. Panca Saktiyani パンチャ	Apr. 20. 1969	Diponegoro University (Law)	Program Officer, People Centered Business and Economic Institute 民衆のための起業・事業支援協会 (NGO) 事業担当	Jl. Gatot Subroto Kav. 95 Jakarta 12780 INDONESIA
6		Kenya ケニア D-97-09954	Ms. Lucy M. Muraguri ルーシイ	Jan. 1. 1964	University of Nairobi (Sociology)	Social Development Officer, Department of Social Services Ministry of Culture and Social Services 社会福祉・文化局 社会開発担当官	c/o Dept. of Social Services, P.O. Box 1143 Nanyuki, KENYA
7		Laos ラオス D-97-09956	Mr. Souphany Lienthong リエントン	Jan. 15. 1968	Tashkent University, Uzbekistan (National Economic Planning)	Planner, State Planning Committee, Department of Planning 企画局 企画担当官	c/o State Planning Committee, Dept. of Planning, Vientiane LAO PDR

平成9年度「参加型地域社会開発の理論と実践」一般特設研修コース
 List of the Participants of the Group Training Course in
 Participatory Local Social Development :Theories and Practices
 平成10年 1月26日-3月29日 (January 26 ~ March 29, 1998)

No	写真 Photo	国名 (Country) (研修員番号)	氏名 (Name)	生年月日 (Date of Birth)	最終学歴 (Educational Record)	現職及び所属先 (Present Post & Employer)	連絡先住所 (Address for Correspondence)
8		Panama パナマ D-97-09298	Mr. Alejandro Antonio Chiam Clark アレハンドロ	Oct. 14. 1966	Panama University (Diplomatic analysis)	Chief of National Program of Young People, General Direction for the Development of the Community 地域開発局 青年プログラム担当チーフ	Apartado Postal 5705 Zona No.2, Panama Rca.de PANAMA
9		Panama パナマ D-97-09299	Ms. Dominga O' Neill Peña ドミンガ	Sep. 05. 1954	Panama University (Medicine)	Sub Director, Region de Salud Panama Este パナマ州政府 地域保健担当次長	Abdo. 870721 Zona 7, Panama, PANAMA
10		Philippines フィリピン D-97-08534	Ms. Ligaya B. Anacta Acosta リガヤ	Aug. 03. 1956	Leyte Normal Univ. M. A. in Management (Civil service com.)	Information Officer II, Department of Health Regional Field Office #8 厚生省フィリピン国第8地域 情報担当官	block 7 Lot 25 Area 3A Phase 2B, V&G Subdivision Iacloban City, PHILIPPINES. 6500
11		Tanzania タンザニア D-97-09651	Ms. Jilly Elibariki Maleko ジリイ	Aug. 03. 1963	University of Dar Es Salaam (Sociology)	Personal Assistant to the First Lady, President's Office (The Office of the First Lady) 大統領府 大統領夫人アドバイザー	P. O. Box 9120 Dar Es Salaam TANZANIA
12		Tanzania タンザニア D-97-09657	Mr. Iddi Abdallah Nyundo イディ	Jan. 01. 1957	Virginia State Univ. M. A. (Economics)	Municipal Economist, Mwanza Municipal Council ムワンザ市評議会 都市計画エコノミスト	P. O. Box 1333, Mwanza, TANZANIA
13		Thailand タイ D-97-08988	Mr. Tongchai Kongsukwiat トンチャイ	Aug. 15. 1959	Thammasat University B. A. Public Administ- ration	Community Development District Officer, Sungnern Community Development District Office スングナン地域開発局 開発担当官	Sungnern Community Development Office, Nakorn Ratchasima Province, THAILAND

平成13年度(第2回)参加型地域社会開発のプロジェクト計画・管理

実施期間 平成13年10月1日-11月12日

List of Participants for the Training Course in
Project Planning and Management in Participatory Local Social Development
(October 1-November 12, 2001)

JICA 中部国際センター

〒465-0094 名古屋市長東区亀の井 2-73

Tel 052(702) 1391 Fax 052(702)1397

日本福祉大学

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田





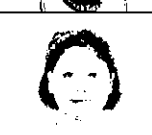



Tel 0569(87)2324 Fax 0569(87)1690

コースリーダー: 大浜 裕 (日本福祉大学)

研修担当者: 森 延仁 (日本福祉大学 研究課)

研修担当者: 中蘭智之 (JICA)

研修監理員: 山本久子 (JICE)

No	Photo 写真	Country 国名	Name 氏名	Present Post & Employer 現職及び勤務先	Address for Correspondence 連絡先住所
1		Chile チリ D-01-06465	Patricio Ivan Chavez Furrianca (パトリシオ)	Development Department, Foundation Chiquihue チンクェ財団 開発部	Casilla 43-D, Puerto Montt Tel:56-65-253345
2		Indonesia インドネシア D-01-01202 (カウターパート)	Amir Rahman (アミル) 豚肉	Staff of Programming, Sub-division of Secretariat, Division of BPM, South Sulawesi 南スラウェシ コミュニティ エンバワメント委員会 事務局 プラグラム部会 スタッフ	Kompleks PL-BPM/PMD Prop. Sul Sel, Jln. Bonto Langkasa No.7-9/G.7, Gunung Sari Baru Makassar 90222 Tel:62-0411-872664
3		Indonesia インドネシア D-01-06823	Ashar Karateng (アシャル) 豚肉	Vice Executive Director, Environmental Partner Institute of South Sulawesi 南スラウェシ 環境パートナー研究所 副所長	Jln. Hertasning V No.1, Makassar, South Sulawesi Tel:062-411-868575
4		Kenya ケニア D-01-05995	George Wachira Kahuro (カフロ)	Nyeri District Irrigation Engineer, Ministry of Agriculture and Rural Development 農業・地方開発省 ニエリ地域灌漑エンジニア	P.O. Box 899, Nyeri Tel: c/o 0171-2420
5		Lesotho レソト D-01-05997	Moeti Joseph Lephoto (ムエティ)	Economic Planner, Ministry of Development Planning 開発計画省 経済プランナー	P.O. Box 630, Maseru 100 Tel:266-340446, 8847471
6		Philippines フィリピン D-01-05885	Matilde Limpahan Go (マティルデ)	Local Government Operations Officer IV, Bureau of Local Gov't Dev., Dep't of the Interior & Local Gov't 内務地方省 地方政府開発局 地方政府実施担当官	12 Princess Dianne St., Queensland Subdivision Novaliches, Quezon City Tel: 929-92-35
7		Sri Lanka スリランカ D-01-06346	Niyangama Balasuriyage Monty Ranatunge (モンティ)	Assistant Director Planning, Monaragala Irrigation & Community Development Project モナラガラ灌漑・コミュニティ開発プロジェクト 計画部次長	Bibila Rd., Monaragala Tel: 94-55-76002
8		Tanzania タンザニア D-01-01797 (カウターパート)	Jackson Hhape Samuel (ジャクソン) 生魚	Planning Officer II, President's Office, Regional Administration & Local Government 地域行政・地方政府 大統領室 計画担当官	P. O. Box 1923, Dodoma Tel:026-2322684, 0744-372789
9		Tanzania タンザニア D-01-06277	Leti Ally Shuma (レティ) 豚肉、魚類	Municipal Planning and Co-ordinating Officer, Kinondoni Municipal Council キンドニ市評議会 計画調整官	P.O. Box 8021, Dar Es Salaam Tel: 0744-270169
10		Thailand タイ D-01-06733	Jirat Wachiraseree- Chai (レック)	Social Worker 5, Office of Committee for Rehabilitation of Disabled Persons, Dept. of Public Welfare 公共福祉省障害者リハビリテー ション委員会事務局 ソーシャルワーカー	432 M.12 Suksawad Rd., Bangpakok, Radburana, Bangkok 10140 Tel:662-476-4173

平成12年度 参加型地域社会開発のプロジェクト計画・管理

List of Participants for the Training Course in

Project Planning and Management in Participatory Local Social Development

平成12年10月2日～平成12年11月13日(October 2～November 13, 2000)

JICA 中部国際センター

TEL:(052)702-1391 FAX:(052)702-1397

日本福祉大学




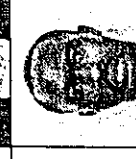


〒470-3285 愛知県知多郡美浜町奥田




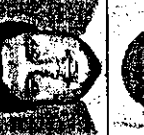


TEL: (0569)87-2324 FAX: (0569) 87-1690

コースリーダー：大濱 裕 (NFU)

研修担当者：大久保 晶光 (JICA)

研修監理員：山本 久子 (JICE)

No	Photo 写真	Country 国名	Name 氏名	Date of Birth 生年月日	Final Academic Background 最終学歴	Present Post & Employer 現職および勤務先	Address for Correspondence 連絡先住所
1		Ethiopia エチオピア D-00-07500	Ms. Aster TADEGE (アステール) (生魚)	Oct. 20, 1969	A.A. University (B.A.: Sociology & Social Adm.) アディス・アベバ大学 (社会学、行政学)	Expert, Ministry of Economic Development and Cooperation 経済開発協力省 専門家	Ministry of Economic Development & Cooperation P.O. Box 1037 Addis Ababa, Ethiopia
2		Indonesia インドネシア D-00-01688 (C/P)	Mr. Adi SETIYANTO (アディ) (豚肉)	Nov. 30, 1957	UGM ガジャマダ大学在学中 (社会学)	National Trainer, Integrated Rural Development Training Center of Rural Community Empowerment 地域開発研修センター 講師	Jl. Raya Langsep No.7 Malang East Java 65116, Indonesia
3		Indonesia インドネシア D-00-07069	Mr. Antonaria (アントン)	Sept. 17, 1964	Murdoch University (M.A.: Development Studies) マードック大学 (開発学修士)	Planning Staff, Bureau of Regional Capacity Building, National Development Planning Agency 国家開発計画庁 地方能力開発局 計画官	Kompleks Bappenas B-73, Kedauang, Sawangan, Depok 16516, Indonesia
4		Kenya ケニア D-00-02584 (C/P)	Mr. Daniel Chebii KIPKOCHOI (チェビー) (生魚)	Aug. 5, 1967	Dayster (Communication for Development) (開発コミュニケーション)	Social Development Officer, Department of Social Service, Ministry of Home Affairs, National Heritage and Sports 内務、国家遺産、スポーツ省 社会福祉局 社会開発官	P.O. Box 139 Marigat, Baringo District, Kenya
5		Kenya ケニア D-00-06654	Ms. Pamela Akinyi NDEDA (パメラ) (豚肉、生魚)	Apr. 15, 1963	University of Nairobi (Range Management) ナイロビ大学 (経営学)	Project Monitoring Officer, Ministry of Agriculture and Rural Development 農業地域開発省 プロジェクトモニタリング 担当官	P.O. Box 30028 Nairobi Kenya
6		Nepal ネパール D-00-02175 (C/P)	Mr. Bidur Nath SAPIKOTA (サブコタ) (牛肉、豚肉、魚類)	19 Jan, 1966	Tribhuvan University (Management) トリブフワン大学 (経営学)	Soil Conservation Assistant, District Soil Conservation Office 地方土壌保全局 土壌保全補佐官	District Soil Conservation Office, Kaski, Pokhara, Nepal

No	Photo 写真	Country 国名	Name 氏名	Date of Birth 生年月日	Final Academic Background 最終学歴	Present Post & Employer 現職および勤務先	Address for Correspondence 連絡先住所
7		Papua New Guinea パプアニューギニア D-00-07067	Mr. Joseph Carlos JERAHA (ジョセフ) (なし)	Jun. 24, 1958	P.N.G. University of Technology (Business) パプアニューギニア工科大学(工学) Asian Institute of Management (Development Management) アジア経営大学(開発経営学)	Senior Planner, Department of Bougainville ブーゲンビル局主任計画官 Project Development Officer, Department of Agrarian Reform 農地改革局プロジェクト開発官 Community Organizer/Trainer, UGMAD Foundation Inc. UGMAD財団コミュニティー・オーガナイザー	Department of Bougainville P.O.Box 322, Buka, Bougainville, Papua New Guinea DAR-PDMS, Elliptical Road, Diliman, Quezon City, Philippines UGMAD Foundation Inc. 1230 V.Rama Avenue Guadalupe, Cebu City 6000 Philippines Chief Ministry, Maligawa, Kurunagala, Sri Lanka
8		Philippines フィリピン D-00-01851 (C/P)	Ms. Florida Mercader ROMERO (フロリーダ) (なし)	Nov. 24, 1959	Asian Institute of Management (Development Management) アジア経営大学(開発経営学)	Project Development Officer, Department of Agrarian Reform 農地改革局プロジェクト開発官 Community Organizer/Trainer, UGMAD Foundation Inc. UGMAD財団コミュニティー・オーガナイザー	Department of Bougainville P.O.Box 322, Buka, Bougainville, Papua New Guinea DAR-PDMS, Elliptical Road, Diliman, Quezon City, Philippines UGMAD Foundation Inc. 1230 V.Rama Avenue Guadalupe, Cebu City 6000 Philippines Chief Ministry, Maligawa, Kurunagala, Sri Lanka
9		Philippines フィリピン D-00-05769	Mr. Oscar Ortega, VILLARJO (オカ) (なし)	Sep. 10, 1954	Abellana National High School アベラ高等学校 University of Colombo (Sociology) コロombo大学(社会学)	Community Organizer/Trainer, UGMAD Foundation Inc. UGMAD財団コミュニティー・オーガナイザー	UGMAD Foundation Inc. 1230 V.Rama Avenue Guadalupe, Cebu City 6000 Philippines Chief Ministry, Maligawa, Kurunagala, Sri Lanka
10		Sri Lanka スリランカ D-00-06485	Mr. Jayantha WJERANTE (ジャヤンタ) (なし)	Nov. 16 1958	University of Colombo (Sociology) コロombo大学(社会学)	Senior Assistant Secretary, Chief Ministry "Maligawa "Kurunagala クルナガラ・マリガラ担当省主任次官補佐官	Chief Ministry, Maligawa, Kurunagala, Sri Lanka
11		Tanzania タンザニア D-00-06442	Ms. Rehema Agnes D. MNZAVA (ンザバ) (生魚)	Aug. 14, 1956	Institute of Development and Management, Mzombe (Economics) ンゾンベ開発経営大学(経済学)	Planning Officer, Ministry of Regional Administration and Local Government 地域行政・地方政府省計画官 Agriculturist (P.C.7) Highland Economic and Social Dev. Promotion Office 高地経済社会開発促進局農業専門官	P.O.Box 1923 Dodoma, Tanzania HESDP Office, Chotana Rd., Chiang Mai, Thailand 50300
12		Thailand タイ D-00-06443	Mr. Songsak TEPSARN (ンンサク) (なし)	Oct. 22, 1957	Chiang Mai University (M.A.:Public Administration) チェンマイ大学(行政学修士)	Planning Officer, Ministry of Regional Administration and Local Government 地域行政・地方政府省計画官 Agriculturist (P.C.7) Highland Economic and Social Dev. Promotion Office 高地経済社会開発促進局農業専門官	HESDP Office, Chotana Rd., Chiang Mai, Thailand 50300